

5/9 竜おうみ米の田植え見学 & バケツ稲にチャレンジ!!

持ち物

① 10~15ℓのバケツ

稲は成長するに従って、根は下に伸び深く張ります。そのためある程度容量が大きく深さのあるバケツが必要です。

② 大きめのビニール袋

現地でバケツに土を入れ、苗を植えて持ち帰ります。バケツが入る大きいビニール袋をお持ちください。



*バケツ稲の育て方資料、観察ノートさしあげます。

竜おうみ米ってどんなお米？ 生産者:竜王町稲作経営者研究会

✓ 独自ブランド米:2014年、生活クラブ向けの「竜おうみ米」誕生

✓ 品種は3つ:「みずかがみ」「キヌヒカリ」「秋の詩」

✓ 環境に優しい米作り:農薬は田植え初期に1回(3成分以下)だけ、

有機肥料100%の田んぼには多種多様な生き物が育ちます。

又、田んぼからの排水が河川や琵琶湖を汚すことはありません。

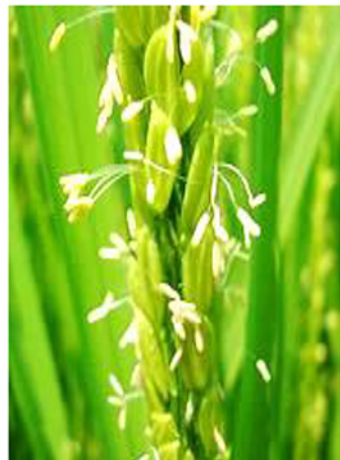
数時間の輝き[✦]

バケツで稲の花を咲かせませんか



2024,9月 稲刈り見学

当日スケジュール
10時:JA グリーン近江に集合
田植え見学
低温貯蔵庫見学
バケツ稲づくり
12時半:解散
*現地集合、現地解散です。
自家用車でお越しください。
*後日集合場所の地図を送ります。



2024,8月 稲の花

バケツの中に小さな田んぼを作り、苗を育てるとお米が収穫できます。毎日食べているご飯がどうやってできているのか体験できるよ



えみ
笑味ちゃん
©よい食P

